

令和6年6月4日
内閣府

地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業に係る 取組団体の決定

政府の総合経済対策事業の一つである「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」については、以下の14団体を取組団体として決定します。

○取組団体

(1) 政令指定都市（3団体）

京都市、福岡市、熊本市

(2) 市区町村（政令指定都市除く）（11団体）

市原市（千葉県）、中野区（東京都）、座間市（神奈川県）、
岡崎市（愛知県）、春日井市（愛知県）、豊田市（愛知県）、
播磨町（兵庫県）、鳥取市（鳥取県）、呉市（広島県）、
福山市（広島県）、宇和島市（愛媛県）

○その他

- ・事業概要、各団体の取組予定は別添のとおり。

令和6年度 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 取組団体（市区町村）

概要

- 令和6年4月1日に「孤独・孤立対策推進法」が施行され、孤独・孤立対策の一層の強化・深化を図っていく。
- 本事業では、地方における孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの整備を後押しするとともに、地域における孤独・孤立問題に対する活動への支援や、分野横断的で先駆的な活動の全国展開を行い、官・民・NPO等の連携基盤強化を目指す。

取組団体

令和6年度を取組団体は、以下の14団体

○新規取組団体（5団体）

中野区（東京都）、岡崎市（愛知県）、豊田市（愛知県）、播磨町（兵庫県）、
呉市（広島県）

○過年度からの取組団体（9団体）

京都市（京都府）、福岡市（福岡県）、熊本市（熊本県）、
市原市（千葉県）、座間市（神奈川県）、春日井市（愛知県）、鳥取市（鳥取県）、
福山市（広島県）、宇和島市（愛媛県）

令和6年度 地方版「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」推進事業 取組状況

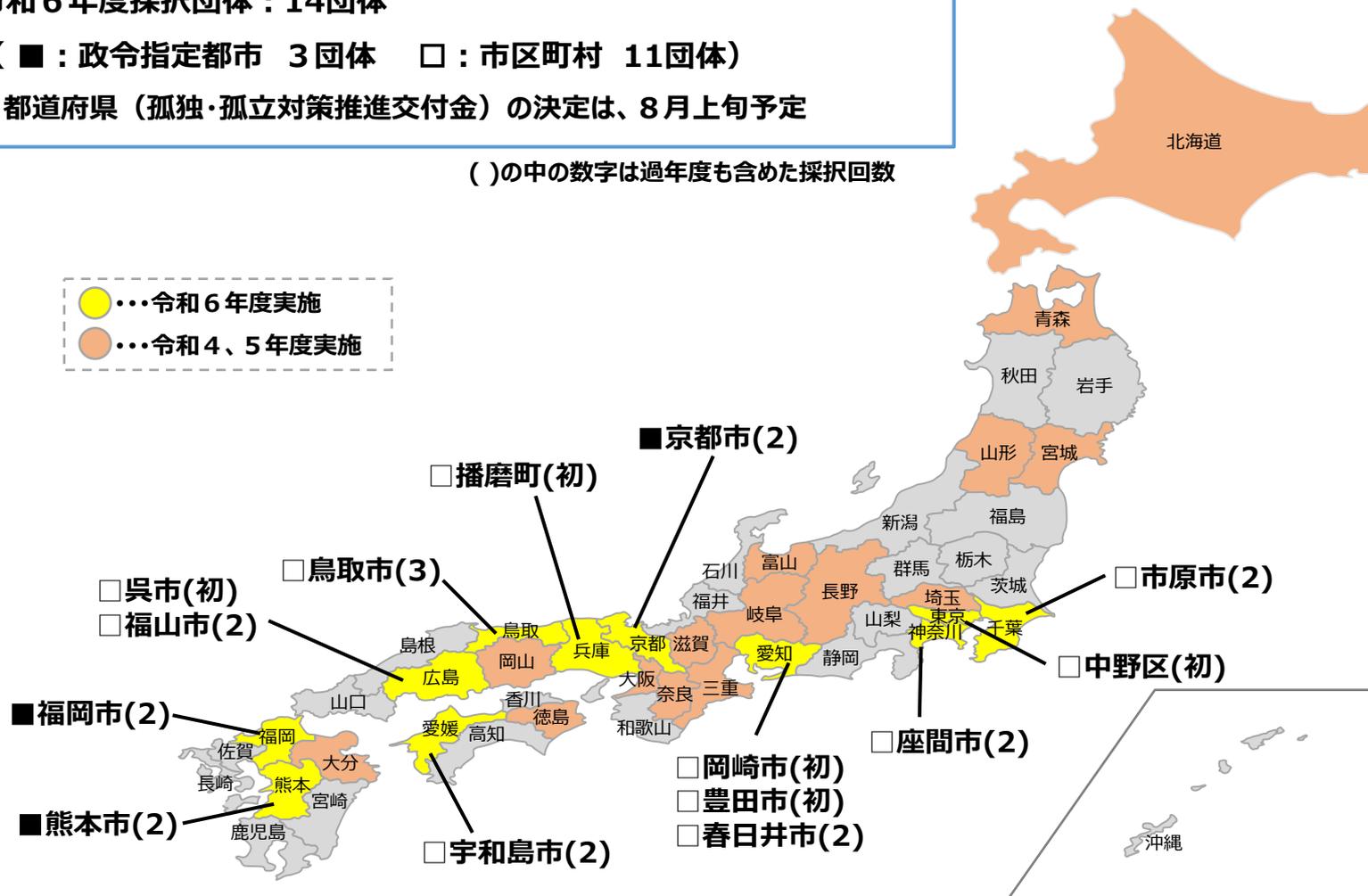
令和6年度採択団体：14団体

(■ : 政令指定都市 3団体 □ : 市区町村 11団体)

※都道府県(孤独・孤立対策推進交付金)の決定は、8月上旬予定

()の中の数字は過年度も含めた採択回数

- ...令和6年度実施
- ...令和4、5年度実施



地方版「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」推進事業 取組状況（令和4年度～）

※都道府県（孤独・孤立対策推進交付金）の決定は、8月上旬予定

都道府県	自治体名	実施年度		
		R4	R5	R6
北海道	北海道	●	●	
	釧路市	●		
	登別市	●	●	
青森県	青森県	●		
宮城県	仙台市		●	
山形県	山形市	●		
	鶴岡市	●		
埼玉県	埼玉県	●		
千葉県	市原市	●		●
東京都	江東区		●	
	品川区		●	
	中野区			●
神奈川県	鎌倉市	●		
	座間市		●	●
富山県	富山県		●	
長野県	須坂市	●		
	飯山市		●	
岐阜県	岐阜県	●		
愛知県	春日井市		●	●
	岡崎市			●
	豊田市			●
三重県	伊勢市	●		
	名張市	●		
滋賀県	滋賀県	●		
京都府	京都市	●		●
兵庫県	播磨町			●
大阪府	大阪府	●		
	枚方市	●		
奈良県	生駒市		●	

都道府県	自治体名	実施年度		
		R4	R5	R6
鳥取県	鳥取県	●		
	鳥取市	●	●	●
岡山県	笠岡市	●		
広島県	三原市	●		
	尾道市	●		
	府中市	●		
	福山市		●	●
	呉市			●
徳島県	徳島県	●		
愛媛県	愛媛県	●		
	宇和島市	●		●
福岡県	北九州市	●	●	
	福岡市		●	●
熊本県	熊本市	●		●
	宇城市		●	
大分県	津久見市	●		
計		45	29	15

【過去の実施状況】



モデル事業
トップページ



令和5年度
実績報告



令和4年度
実績報告

政令指定都市 取組団体（3団体）

団体名	概要（○…現状、●…今後の取組）
京都府 <small>きょうとし</small> 京都市	<p>○孤独・孤立対策として、孤独・孤立に関する課題に関して取り組む本市を含めた関係機関や団体等が相互に連携し、横のつながりを強化するための「孤独・孤立に関する連携協定」を締結している。また、困り事に応じた支援制度や窓口を案内する、チャットボットを活用したWebサイト「京都市版お悩みハンドブック」を運用している。</p> <p>●現在運用中の「京都市版お悩みハンドブック」について、孤独・孤立に悩む方自らが社会資源につながりやすくなるよう、「孤独・孤立に関する連携協定」協定締結団体等の地域資源の具体的な事業内容や強みを「見える化」したオンラインデータベースの作成機能を付加するカスタマイズを実施し、支援団体間の更なる連携強化にも活用していく。</p>
福岡県 <small>ふくおかし</small> 福岡市	<p>○孤独・孤立対策の効果的な推進を図るための枠組みを「福岡市孤独・孤立プラットフォーム」とし、市民・企業・NPO等が相互に連携と協働を図っている。また、生活困窮者支援体制を構築するためのプラットフォーム協議会を設置し、各関係機関・民間団体等が連携して、生活困窮者支援の実情や課題の整理を行い、支援の方法などを検討している。</p> <p>●孤独・孤立状態にある方は、複合的な課題を抱えていることが考えられ、その中には悩みが明確になっていない方、どこに相談すればいいのかわからない方も多い。そのため、広報啓発の充実を目的とした福岡市版お悩みハンドブック（Webサイト）の新設や関係機関等へ孤独・孤立問題に関する普及活動を実施していく。</p>
熊本県 <small>くまもとし</small> 熊本市	<p>○NPO団体と連携し、フードドライブによる生活困窮者への食糧支援や、民生委員等による高齢者世帯の見守り活動等を実施。令和4年度にはプラットフォームを設立し、継続的に市民向けの啓発イベント（シンポジウム等）の開催や、「孤独・孤立対策強化月間」の周知など普及啓発活動に取り組んでいる。</p> <p>●既存のプラットフォームの事務局機能をNPOに担ってもらい、NPOの事業継続性を担保しつつ、官民連携の深化を図っていく。さらにはこれまでの知識や経験を相互に共有し、連携・協働することで、孤独・孤立問題の「予防」と「支援」について発展的な取組に繋げ、今後目指す孤独・孤立対策地域協議会設立のベースとしていく。</p>

市区町村（政令指定都市除く） 取組団体 1 1 団体

団体名	概要（○…現状、●…今後の取組）
<p>千葉県 <small>いちほらし</small> 市原市</p>	<p>○令和4年度地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業の支援の成果として、孤独・孤立対策地域協議会及び孤独・孤立対策官民連携プラットフォームといった核となる取組を具現化。中間支援団体や、ひきこもり当事者団体などと、定期的に意見交換を行い、施策の検討に活かしている。</p> <p>●プラットフォーム会議の訴求力・発信力の強化や、「ゆるくつなぐ」精神を浸透させていくことを目的とした「ゆるサポ」の養成、地域住民やNPO 団体等から企画提案を募る「公募型研修委託事業」等により、地域の多様な主体との連携による自律的な課題解決が図られる体制づくりを目指す。</p>
<p>東京都 <small>なかのく</small> 中野区</p>	<p>○保健・福祉の相談窓口として「すこやか福祉センター」や住民自治の拠点として「区民活動センター」を設置。また、中野区における地域包括ケア体制の充実を図ることを目的として NIC+（ナカノ・インクルーシブ・ケア・パートナーシップ）協定を導入。“オールなかの”で地域包括ケア体制の構築を進めている。</p> <p>●孤独・孤立対策の啓発・機運醸成が目的の事業として、地域包括ケアシンポジウムと見本市を開催する。地域包括ケアシンポジウムでは大学生等の参画により20代～30代の若者の孤独・孤立をテーマとして実施検討。見本市では、関係機関どうしが連携・交流を図り孤独・孤立対策に資する新たな事業を創出する機会とすることを想定している。</p>
<p>神奈川県 <small>ざまし</small> 座間市</p>	<p>○ひきこもり状態や対人関係の難しさ、生きづらさを抱えている女性を対象に生活困窮者自立支援制度における地域ネットワーク構築事業（「ひきこもり女子会」）を実施。市役所内でも自殺総合対策の勉強会等を行っている。</p> <p>●共同実施自治体による官民連携プラットフォーム形成に向けた連絡会議を開催。共同する4市にはひきこもり支援を通じた連携の実績があるため、そこをベースとし、それぞれが築いてきた社会資源やネットワークを共有し、市域を超えた支援体制の構築を図る。</p> <p>また、座間市で令和5年度に実施し、継続する声が多く上がった美術展の開催など、アートに関する事業を通して地域住民への周知・意識づけを行っていく。</p> <p>共同団体：神奈川県大和市、神奈川県海老名市、神奈川県綾瀬市</p>

団体名	概要(○…現状、●…今後の取組)
愛知県 <small>おかざきし</small> 岡崎市	<p>○生きづらさに寄り添うポータルサイト「つなぎめ」をNPO 法人コネクトスポットと共同運営を開始。同法人を通じて孤独・孤立対策関連サイトの集約、情報発信を実施している。</p> <p>●「つなぎめ」の連絡網を拡充し、一団体として活動できるつながりへ発展させてプラットフォームを設置。岡崎市の中でウォークアブルな開発を進める地域、通称QURUWA(クルワ)で空いているスペースやレンタルスペースを活用し、LGBT やヤングケアラー等定期的にテーマを変えた企画を実施予定。テーマに関心がある方がつながることができる場を目指す。</p> <p>共同団体：NPO 法人コネクトスポット</p>
愛知県 <small>かすがいし</small> 春日井市	<p>○高齢者分野における住民主体の地域課題の解決体制の構築や、官民協働による研究会を設置し、包括的な支援を担う人材を継続的に育成する体制（研修プログラムの開発等）の整備を行った。</p> <p>令和5年度にはモデル地区で官民連携プラットフォームを立ち上げ、誰もが気軽に気持ちを書き留めるノート「ぷらっと」を作成。当事者が思いを発信し、地域や支援者が受け止めるための仕組みを検討している。</p> <p>●新たに2地区で連携プラットフォームを設立し、先行するモデル地区との情報共有や相互支援のネットワーク化を図る。また、ICTを活用している事業者や福祉分野以外の地域貢献活動に関心がある民間企業、社会福祉法人等との連携・協働を促進し、人と人がつながりあう取組を創出する。</p>
愛知県 <small>とよたし</small> 豊田市	<p>○令和3年度から介護、障がい福祉、農家など多種多様な事業者で組織された「とよた多世代参加支援プロジェクト」による、福祉制度が利用できない対象者へ向けた、相談や支援を実施。</p> <p>また、包括的相談事業や地域づくり事業も実施。</p> <p>●実施している支援プロジェクトに孤独・孤立対策を行っている、または興味がある事業者を加えてプラットフォームを設置予定。また、相談に「来ない・来られない」対象者への支援を提供するため、既存の事業を強化。人や地域、社会とのつながりのきっかけとなる参加支援事業を各支援機関が持つ情報を分析して実施し、支援がいきわたる社会を実現させる。</p>

団体名	概要(○…現状、●…今後の取組)
兵庫県 <small>はりまちょう</small> 播磨町	<p>○住民福祉向上のため総合相談窓口を設置し、福社会館におけるワンストップ型の相談体制を構築。</p> <p>●「待ちの行政」から「アウトリーチ型の行政」へと転換するため、先進地視察の情報交換等を踏まえ、アウトリーチ型相談体制を構築するとともに、社会福祉協議会や民生委員・児童委員と連携しながら、きめ細やかなプラットフォームを確立する。</p> <p>共同団体：播磨町社会福祉協議会、播磨町地域包括支援センター、播磨町成年後見センター</p>
鳥取県 <small>とっとりし</small> 鳥取市	<p>○令和5年度に、個別支援にあたる「相談支援包括化推進会議」や社会的孤立防止を目的とした「つながりサポーター」の活動を、近隣6町と連携した「麒麟のまち連携中枢都市圏」で展開。</p> <p>●孤独・孤立対策を「まちを豊かにする」活動として位置づけ、「ひとりぼっちをつくらぬまちづくりの創造」を目指す。つながりサポーターについては、交流会やリーダー養成講習会、定期的な研修会の開催などを検討。</p> <p>また、住民への周知や意識づけについては孤独・孤立対策の基盤事業の1つである地域食堂ネットワークや各地域の地域食堂、テレビCM・番組などの活用を通して行っていく。</p> <p>共同団体：麒麟のまち連携中枢都市圏を構成する6町</p> <p>鳥取県岩美郡岩美町 同八頭郡若桜町 同八頭郡智頭町 同八頭郡八頭町</p> <p>兵庫県美方郡香美町 同美方郡新温泉町</p>
広島県 <small>くれし</small> 呉市	<p>○令和4年度から重層的支援推進室を設置し、属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりを実施。また、令和4年度は、ひきこもり状態にある方とその家族について、令和5年度は、ケアラー（家族介護者等）について、実態把握調査を実施。その結果、核家族化など社会情勢の変化等により、人と人との「つながり」が希薄化し、コロナ禍により孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化している現状が確認できた。</p> <p>●孤独・孤立の実態把握に関する市民意識調査を実施し、地域の居場所づくり等のため、市、地域の事業者、NPO等を含めたプラットフォームの設置を行う。また、孤独・孤立問題の周知を図り、地域全体で支援する気運を醸成するために講演会を実施し、地域での包摂（温かい見守り、声をあげやすい地域社会の実現）を進めていく。</p>

団体名	概要(○…現状、●…今後の取組)
広島県 <small>ふくやまし</small> 福山市	<p>○ネウボラ相談窓口「あのね」、ひきこもり相談窓口「ふきのとう」、を設置。また、誰もが役割を持ち、社会から孤立することなく、安心して自分らしく暮らすことができる「地域共生社会」をめざしている。</p> <p>●官民連携プラットフォームの設立を予定。分野を問わず悩みを受け止め、各関係機関が連携しながら支援していく。孤独・孤立の「未然防止・予防・早期発見」を目標に、誰かに頼りやすい環境を整えるため、正しい理解と対応について啓発に努めていく。</p>
愛媛県 <small>うわじまし</small> 宇和島市	<p>○アウトリーチ型の取り組みに重点を置き、自ら声を上げることができない、潜在的に支援を必要としている方々へのアプローチ強化に努めてきた。また、妊娠、出産期の女性、子育て期の親等への見守り支援強化の取り組みとして、NPO15団体等と連携し「こども食堂協議会」を設立し、課題共有を図っている。</p> <p>●生活に欠かすことのできない「食」をテーマとしてNPO団体が実施している「食支援」を活用し、顔の見える関係のきっかけをつくり、そこを起点に日ごろの悩みなどを気軽に相談できるつながりが持てるような関係性の構築を目指す。行政機関の相談支援体制の強化とNPO団体の幅広く柔軟な活動との両輪で、抜け漏れのない支援を確立させていく。</p>